

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	静岡いい家プロジェクト				
H30採択グループ番号	07	—	0213	—	0407

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	H30年度の取組みといたしましては、H29年度に行えなかったグループとしての展示会・研修への参加。前年度に行った充填断熱材の施工実演会に続きH30年度は、気密性能の重要性の認識を高めるため気密測定の実演会を行いました。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/06	名称	平成30年度グリーン化事業取組み及び概要説明会			
	内容	事務局により、個別で説明会を開催しました。構成員に零細事業者が多い為、個別に時間を設けて説明会を開く事で、各構成員からの要望や質疑を的確に把握する事が出来ました。各構成員と地域型住宅づくりを推進していく為、今後も個別説明会を行っていく予定です。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/09/29	名称	施主様向け補助金制度説明会			
	内容	グリーン化事業補助金制度を活用される消費者様(施主様)に対し、冊子をご案内させていただきながら当グループの活動内容を施工業者様とともに個別に説明させていただいております。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/06/23	名称	気密測定実演会(現場にて)	タイプ	実習	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有							
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 書類作成へのサポート 各認定住宅取得への仕様決めサポート 							
取組み ②	サポートの有無 2								
	内容								
取組み ③	サポートの有無 3								
	内容								

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	3	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JBN プロパティオン	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有			
内容	情報履歴サービスの活用を推奨し、事務局が各物件の内容を閲覧可能にすることにより、グループ内で他の施工事業者様が引き継げるよう取り組む。			
② H30年度における施工構成員の廃業	無			
対応内容				

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有			
内容	グループでの展示会及び研修に参加することにより、幅広く断熱材の特徴及び性能を認識していただき、高性能な断熱材を選択していただくよう働きかけをいたしました。また、外皮計算を学ぶことにより各サッシの性能及びガラスの性能の差を認識していただき住宅に取り込むことに成功いたしました			
省エネ化に対する取組 ②				
内容				
BELS工務店の登録数	8 社			

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	静岡いい家プロジェクト			
H30採択グループ番号	07	—	0213	— 0407

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/21	名称	今期のグリーン化事業への取組みと概要		
	内容	H30年度同様、個別での説明を実施。 また、新規加入施工事業者様へはグリーン化事業の概要と共に各認定住宅の取得方法及び認定住宅の特徴を説明。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/10/05	名称	防蟻性能について		
	内容	消費者様へ防蟻剤の重要性を説明の上、防蟻剤の保証期間や薬剤の有効年数を説明、且つ定期的なメンテナンス計画を定型書式を元に維持管理計画を実行する。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/09/11	名称	断熱+気密+計画換気勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 各認定住宅の取得方法を勉強会又は個別研修等により、速やかな取得が可能な体制へサポートする 各認定住宅の標準仕様を作成し提案する 速やかな書類を作成する為のサポート 						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JBN プロパティオン
------------	----------	-----	-------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	住宅情報履歴サービスの活用を推奨し、事務局が各物件の内容を閲覧可能にすることにより、グループ内で他の施工事業者様が引き継げるような体制を確立させる。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	① 今期全ての構成員のBELS工務店を目標 ② ZEHビルダー登録を推奨することにより目標数値を定める。 ③ 毎年度グループとして取り組んでいる断熱材及び気密性能の勉強会を実施						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	節水機能の付いた設備を標準化。 ガスの場合はエコジョーズ、オール電化の場合は、エコキュートを推奨						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/06/27				
内容	大型量販店で購入しがちなエアコンや家電製品の省エネ商品の特徴を研修し、施工事業者様からより省エネ機能の高い製品をご提案いただくよう働きかける。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	静岡いい家プロジェクト				
H30採択グループ番号	07	—	0213	—	0407

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	静岡県土の64%を占める豊富な森林資源活用のため静岡県産材を推奨する 主要構造材はKD材もしくは集成材を利用する。	●
----	--	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明						
主要構造材	土台	有	I 原木供給事業者やII製材・集成材・合板製造事業者が海外にあるため一部I原木供給事業者II製材・集成材・合板製造事業者の登録を行っていない。				
	柱	有					
	梁・桁等の横架材等	有					
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無					
造作材	枠材、廻縁等	無					
板材	壁板、床板等	無					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	事務局を中心にI原木供給業者II製材・集成材・合板製造事業者IVプレカット事業者と電子メールにて、月数回情報を共有することにより対象建築物の速やかな資材提供ができる環境を整える。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	設備メーカー及び建材メーカーとの連携を確立し、グループとしての標準推奨商材を取り決め提案。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	事務局作成のフォーマットを使用し施工事業者からの情報を適時に把握し、月ごとに現場の進捗状況をグループ構成員へ伝える。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	断熱材の施工標準マニュアルを作成し、施工の標準化及び安定化を図る また、技術の向上化のため、施工研修を行う。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ独自のメンテナンス計画に基づき、点検を行う。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	建て方後の金物検査、防水検査、断熱検査を第三者検査機関へ委託することを推奨する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	共通ルールとして、明細の記載がある見積書を消費者へ提示。 見積書を提示時に口頭での説明を義務付け。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	モデルの労働カレンダーを事務局で作成し、構成員へ配布する。 月次に構成員へモデルのカレンダーとの労働日時の違いがあるか確認
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	技能や経験に基づいた施工者、職長の表彰制度の導入を推奨する。
③ 社会保険への加入	有	内容	構成員の社会保険のコピーを事務局で保管する。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	各構成員の経営職管理職に向け事務局が主催共催または協賛する労務管理のためのセミナー受講を推奨する また現場ごとの安全確認チェックシートの提出を義務付け健康診断に加え労働災害防止のためのセミナーを行う

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	静岡いい家プロジェクト				
H30採択グループ番号	07	—	0213	—	0407

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	目標を各施工事業者に設け達成率を月次事務局がまとめ構成員に配布する 目標30畳
② 和瓦の活用	有	内容	目標を各施工事業者に設け達成率を月次事務局がまとめ構成員に配布する 目標20坪
③ 襖・障子の活用	有	内容	目標を各施工事業者に設け達成率を月次事務局がまとめ構成員に配布する 襖:目標10枚 障子:目標15枚
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	静岡伝統の家具文化、竹細工を取り入れグループ内コンテスト表彰を行う
② 地域の住まい方の継承	無	内容	
③ 地域の街並み形成への配慮	無	内容	

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
被災地域の建築資材の利用。	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	
事務局を中心に各施工事業者からの被害状況の情報を共有し、グループでの被害拡大を適時に防ぐ。	